

さかそう通信

Sakaso

上甲 誠(じょうこうまこと)
無所属 (1973年阪南市生まれ)
市政相談所: 〒599-0224 阪南市舞 4-30-2
電話 072-474-9211 メール mac@j-zaq.jp
ブログ http://mac-joe.net/

「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切に【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかそう通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。今回のさかそう通信23号は、少し遅くなりましたが「今年度阪南市の主要事業」をテーマにしてお送りしたいと思います。市では毎年「行政経営計画」といいまして「今年度はこんな事業をこんな予算でやっています」と計画を立てます。広報はなんなん4月号に載りましたので重複しますが、近況も含めてお伝えします。

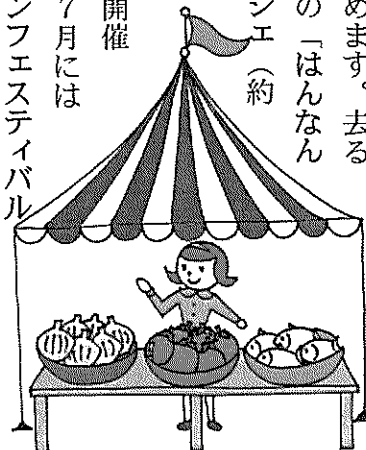
総合ごども館

3月議会で議決いたしました(仮称)阪南市立総合ごども館の現在の状況については裏面で詳しく。私の市政報告会「さかそう会」も開催します。

観光&魅力創出&日台交流

設立3年目の阪南はなやか観光協会と商工会、各種団体と連携し産業観光、体験イベントを実施します。ぴちぴちビーチ・せんなん里海公園をもっと活用して着地型観光にも力を入れると共に、阪南市の魅力をどんどん発信し、交流人口の増加に努めます。去る

3月開催の「はんなん健康マルシェ(約1万人来場)」
28年度も開催します。7月には「コットンフェスティバル



「阪南」を開催。

インバウンドとして台湾(台湾の訪日客はリピーター率が高く、大阪に留まる率が高いそうです)に着目し、地場産業・観光振興に力を入れると共に台湾からの流入客受け入れ環境の整備を行います。

尾崎住民センター新築

旧保健センター(地域交流館の斜め向かい)の場所に尾崎住民センターを新築します。「阪南市の住民センターについて」は別の機会に詳述します。

ごども医療費助成

今まで小学校卒業までだった子ども医療費助成制度(通院費)を7月から中学校卒業までに引き上げます。

桃の木台に消防署

阪南市西部の消防力強化のため、桃の木台(箱作から上がっていくとバイクの手前左側あたり)に消防庁舎を新築。今年度工事着手します。

波太小学校整備事業

平成29年4月「東鳥取小学校」として統合に向け、波太小学校の校舎を改修工事、増築設計します。

包括支援センターを民間に

今まで市役所内に設置されていた「地域包括支援センター(高齢者の何でも相談窓口、介護予防・生活支

援・認知症対策も行うところ)が民間委託され、市内2カ所に設置されます。担当地域は以下の通りです。

【尾崎・東鳥取地域(市民病院のオークワ寄り2軒隣のビル1階)】

尾崎町1丁目5丁目下出・黒田・鳥取中・石田・自然田・桑畑・さつき台・緑ヶ丘・和泉鳥取・山中溪

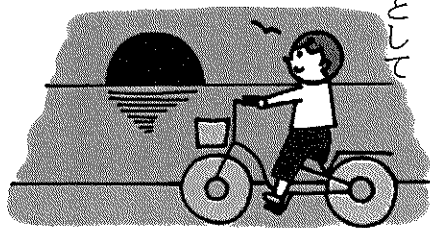
【西鳥取・下荘地域(箱作駅から山側真つ直ぐ200mの信号のところ)】

新町・鳥取・光陽台・鳥取三井・舞・貝掛・箱作・南山中・箱の浦・桃の木台

駅周辺整備いろいろ

この8月に念願の山側改札ができて、超便利になりました鳥取ノ荘駅は今年度「海側」のバリアフリー工事をします。和泉鳥取駅も東側改札の設置とバリアフリー化、横の狭い高架下道路の拡幅。山中溪駅は周辺の道路拡幅も含めて駅舎を整備します。尾崎駅及び周辺についても先日「駅周辺整備特別委員会」で少し説明がありました。阪南市の中心市街地として活性化のための整備を検討します。

以上、主なものを紹介させていただきました。今年度も盛りだくさんです。



上甲誠 市政報告座談会 さかそう会



総合こども館について。お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

あたごプラザ・ホール

平成28年6月25日(土) 10時~12時

桃の木台西住民センター・会議室

平成28年6月26日(日) 10時~12時

上甲誠ブログ

人こそ衛なり

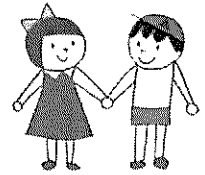
ほぼ毎日更新中!

<http://mac-joe.net/>



阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載!!

市政相談・お問い合わせ
お気軽に 上甲誠市政相談所



大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mac@j.zaq.jp

「総合こども館」特集

去る3月24日に議会で議決し、具体的に事業がスタートした「総合こども館」ですが、先日、1万2千人を超える住民投票署名が市長に出された通り、この計画が市民の皆さまにまだ正しく伝わっていないのが現状です。上記私のブログでは随時詳細をお伝えしております。また、市政報告会「さかそう会」も上記2会場にて開催いたします。是非お誘いあわせの上、お越しください。

阪南市議会議員 上甲誠

市政報告会

さかそう会 開催!

さて、それでは最近の動きについてお伝えします。先日、議会で「第2回総合こども館整備特別委員会」が開催されましたので、その内容をお伝えします。

まず、決定したこと。

クラス編成：0~2歳児あつては保育所標準による。3歳児25人以内、4歳・5歳児各30人以内。1号認定(もとの幼稚園3~5歳)と2号認定(もとの保育所3~5歳)は混成クラスになります。5歳児のクラス編成では小学校に上がった時の友達や保護者間の交流も考慮し、小学校区に配慮したクラス編成にします。
通園方法：3~5歳児に関しては「バス送

迎&個人送迎」で行います。2歳以下は送迎保育ステーションや外部委託を含めて検討中です。

避難訓練：火災・地震・大雨・不審者などの対策として様々なパターン(保育中・外遊び中・延長保育中など)を想定して毎月1回避難訓練を実施します。

安全・危機管理：玄関にオートロックを設置。防犯カメラも設置します。

感染症対策：抗菌性能の高い機器の導入などを行う。啓発・手洗い・うがいによる予防を徹底すると共に、園内感染症対策マニュアルなどを策定。看護師を配置します。

小学校や地域との交流事業：通園バスなどを利用し、地域に出向く活動などを実施します。

給食：自園調理(建物内に給食調理センターを設置して子ども達の給食を調理)する予定。アレルギーについては自園調理で対応する予定です。

病児保育(インフルエンザとかに罹ってしまった児童の保育)：看護師による体調不良児型保育を実施します。

大規模園でのメリット：クラスの適正規模を維持。こども同士の関係が広がり、対話力や思考力、コミュニケーション力の基礎を培うことが出来る。一極化によりこれまでの経験・知識を一体化した園の運営が可能となる。

現在、検討していること。
5月末から公募市民・公立幼保の保護者と先生・学識経験者などによるワークショップが始まり、市民の皆様と共に作り上げる「総合こども館」にするため、施設整備について議論していきます。併せて以下の項目について検討されています。

●2歳以下の通園バス ●災害時の消防への緊急通報装置の導入 ●不審者対応として警察への緊急通報装置の導入 ●登降園時間の警備員配置 ●感染症対策・体調不良児のための保健室・保健コーナーの整備 ●送迎バスの運行体制・便数。ただし、子どもの乗車時間は最長40分 ●子ども達がバス乗り降りのためのゲートなどを設置

●以上が委員会での内容でした。最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

これからも一生懸命頑張ります。ブログ・後援会も含めて、上甲誠を今後ともよろしくお願ひします。

阪南市議会議員 上甲 誠

